

| | | | |
|---------------------|--------------------------------------|--------------|----|
| SKYLIGHT 〈今月の焦点〉 | ISO が開いた新しい赤外線天文学 | 奥田 治之 | 8 |
| EUREKA 〈研究紹介〉 | 中性子星グリッチの起源 | 望月 優子 | 19 |
| | — さいしょの微視的モデルを構築して — | | |
| 短期連載 | 銀河中心核文明 (降着円盤文明) その4 (第1回) ... | 福江 純 | 32 |
| | 「光の壁」 | | |
| ASTRO NEWS | 私の星間分子 30 年 | 海部 宣男 | 42 |
| 新天体を求めて | 「新星との出会い」 | 山本 稔 | 53 |
| シリーズ | 《 ^{そらとぶ} 天空翔ぶ天文台 (1)》 | 井上 一 × 上野 宗孝 | 58 |
| | イントロダクション | | |
| 雑報 | 日本天文学会早川幸男基金による | | 60 |
| | 渡航報告書 | | |
| 寄贈図書リスト | | | 61 |
| 月報日より | | | 61 |

[表紙説明]

図 11 (左上) 牡牛座ロー星 (ρ -Oph) 付近の暗黒星雲の赤外線像 (ISOCAM: 波長 7μ (青色), 15μ (赤色)), 視野 $45' \times 45'$. さまざまな段階の星形成領域が見えている. 図 14 (右上) ロックマン・ホールの中間赤外線ディープサーベイ (ISOCAM, 7μ), $3' \times 3'$. 図 15 (右中) アンテナ銀河の赤外線像 (ISOCAM, 7μ , 15μ), $2' \times 2'$. 二つの銀河 (NGC4038, NGC4039) が衝突して腕が交叉した部分 (A) が最も明るい. 図 16 (下) ロックマン・ホールの遠赤外線ディープサーベイ (ISOPHOT, 90μ (左), 170μ (右)), 各々 $40' \times 40'$. (SKYLIGHT 参照)

Design Concept ●表紙イラストレーション: 藤居保子

かつて、天上を見上げ、外への拡がりに想いを馳せた時、我々は進み行く方向を知った。現在、素粒子の世界は、時間を戻ること宇宙を解き明かす。未来への旅と過去への旅。どちらが遠いのかは解からない。

表紙は、左に太陽系への進航、右に素粒子物理学を置き、“行く”ことと“戻る”こと、そんなひとつの見方をイメージしたとき、対称的に両者の映え合う画面創りが出来ないかと考えた。

廻り、その始まりを探しながら、未知なる領域への進出を止めることはない。人間の本能のどちらであろう。押さえられない知的好奇心か、それとも、人類が生きてのびる為か。